

講義名	観光産業論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	柏木 千春		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	21039

主題と概要

観光立国推進基本法では、観光立国の実現のために、観光産業における国際競争力の強化を4つの柱の内の一つに据えている。そして、そのためには人材の育成が必要であることを指摘している。

一方、観光関連産業は、わが国における重要な産業の一つであるという認識が持たれるようになってきた。観光は裾野の広い産業構造をもち、他産業への需要創出や雇用創出の役割を担っている。

講義では、観光関連産業の中核を担う業界を中心に、その現況と事業展開、及び国際観光交流時代の業界のあり方について議論を進めていく。また、講師の実務経験を活かした事例を取り入れて分かりやすい解説を試みる。

観光関連業界を志す学生には、自らが目指す業界の将来について考えるきっかけをつかむことを目標とする。

到達目標

観光関連業界を志す学生には、自らが目指す業界の将来について考えるきっかけをつかむことを目標とする。

- 観光ビジネスに関わる理論を身につける
- 観光ビジネスのビジネスモデルを理解する

提出課題

講義時間内に随意、授業内容に関する問題を提出し、小レポートを求める。

評価の基準

出席（15%）、小レポート（15%）、学期末の試験（70%）で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

- 講義時間内に随時、授業内容に関する問題を提出し、小レポート（出席チェックを兼ねる）を求める。
- 出席回数7回以上（開始時間20分以内入室をカウントする）ない場合、定期試験は受けられない。

教科書

『1からの観光事業』（2016年）	高橋一夫他編著	碩学舎	2592	978-4-502-

プリント資料及び参考文献

プリントは必要に応じて配付する

授業計画

1. オリエンテーションー観光産業をとりまく環境
2. 旅行業の概況
3. 旅行会社の事例（JTB）
4. 旅行会社の事例（JTB）
5. 旅行会社のグローバル戦略例（HIS）
6. 旅行業におけるWEBビジネス（エクスぺディア）
7. 旅行業におけるWEBビジネス（楽天トラベル）
8. 宿泊業の概況
9. 宿泊事業者の事例（星野リゾート）
10. 鉄道事業の概況
11. 鉄道会社の事例（観光列車）
12. 航空業の概況
13. 航空会社の事例（ANA）
14. テーマパーク
15. まとめ

予習・復習

- 1.（予習）観光産業にはどのような業界が含まれるのか考えよう（復習）授業を受けて感じたことをまとめよう
- 2.（予習）日本における旅行業界総取扱額と業界シェアを調べよう（復習）授業を受けて感じたことをまとめよう
- 3.（予習）JTBのホームページを見て会社の沿革と戦略を確認しよう（復習）授業を受けて感じたことをまとめよう
- 4.（予習）教科書6章を読んでおこう（復習）教科書6章「考えてみよう」を行おう
- 5.（予習）教科書3章を読んでおこう（復習）教科書3章「考えてみよう」を行おう

備考

授業の進捗により、内容を変更することがある。